

ぬまた初

DIY シェアハウス

DIY とは Do It Yourself の略で、直訳すると「あなた自身でそれをしなさい（自分でやる）」という意味です。つまり自分で修繕などを行う日曜大工のことをいいます。
シェアハウスとは、ひとつの住居を複数人で共有する居住形態（同居生活）のことをいいます。



▼ 手前：和室 A
奥：キッチン



◆ ビフォー・アフター



▲掘りコタツをつくってみました。

町内初のシェアハウス

今年度から新設された住民生活課・移住定住応援室では町内の移住体験住宅（沼田厚生病院の向かい）で約1カ月間のシェアハウス体験事業を始めました。

老朽化した家屋の修繕を自分達で行い絆を深め、住みたい部屋に改装するといった、新たなライフスタイルを提案し発信して沼田町への移住を促すのが目的の事業です。

シェアハウス体験は7/19（火）から始まり、今回の入居者は町内の独身男女4名で行うことになりました。

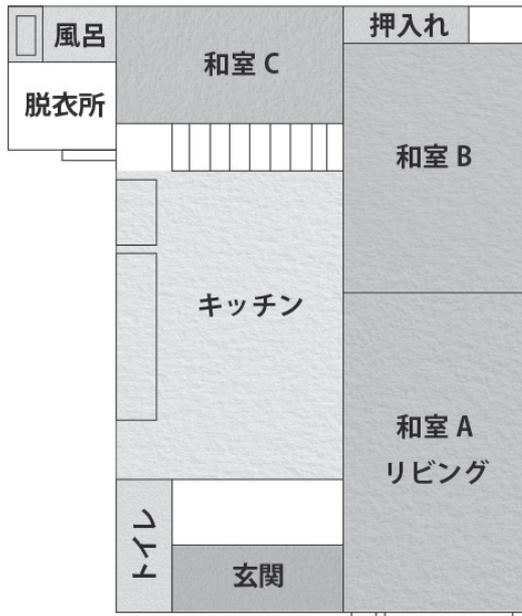
なぜ DIY シェアハウスか？

都市部では若者を中心に広がっているシェアハウス。単身世帯が年々増えていく中、人とのつながりが欲しいけれどプライベートな空間も確保したい、また収入が少ないけれど豊かな生活スタイルを求めるといったニーズが増えていき、それに応える居住形態としてシェアハウスが人気となっていきました。

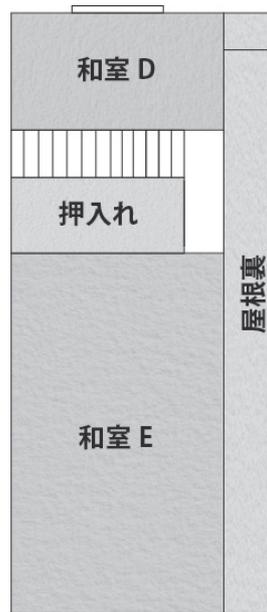
沼田町では年々空き家が増えていますが、大抵が老朽化しており、入居希望者が現れません。そこで DIY をして独身男女が共同生活をすれば、コストを抑えて自分達のニーズにあった生活スタイルが確立でき、出会いの場ともなるため、空き家を利用したシェアハウス事業を道内で先駆けて実施することにしました。

途中経過

1階



2階



住宅の間取りは左図の通り4LDKとなっていて、1階が男性2名の部屋と共有リビング。2階が女性2名の部屋となっています。

部屋の改装は、当人に任せられており、人工芝を敷くといった個性あふれる部屋づくりをしている入居者もいます。

完成にはもう少しDIYを施す必要があり、入居者は思い思いの部屋になるよう毎日コツコツと作業をしています。

作業の状況は「移住定住ブログ」(<http://teiju.com/blog/>)で紹介していますので是非ご覧下さい。

【ビフォー】



和室 C



【アフター】



和室 C

DIY 秘話

6/22に入居者が集まり第1回シェアハウス会議を実施しました。その際、二階の壁をハンマーで解体する儀式を行い、その瞬間みんなDIYをしていくんだと覚悟を決めました。初めて工具を持つ入居者もあり試行錯誤しながらのDIYですが、個性的な部屋にしようと日々奮闘中です。どのような部屋に生まれ変わるかご期待下さい。



移住ブログ QR